

【インターカルチュラル・コミュニケーションの理論と実践】シラバス抜粋

担当教員／Instructor	義永 美央子
開講区分(開講学期)／Semester	春～夏学期
開講科目名／Course Name	コミュニケーション論A/ Communication in Culture and Society A
曜日・時限／ Day・Time	月曜3限 / Monday 3rd period
単位数／Credits	2
講義題目／Course Name	第二言語の学習・教育と質的研究
授業の目的と概要／Course Objective	この授業では、まず質的研究のデザイン、方法、パラダイムについて指定図書の購読をもとに検討します。その後、質的研究の手法を用いた論文を読み、質的データ分析に基づく第二言語教育・学習の研究がどのようにして可能になるのかを考察します。これらの過程を通じ、質的研究に関する理解を深め、受講生各自の今後の研究に役立てることが本講義の目的です。受講生の発表やディスカッションが中心になるため、積極的な参加を歓迎します。
教科書・教材／Textbooks	大谷尚（2019）『質的研究の考え方ー研究方法論からSCATによる分析まで』名古屋大学出版会 八木真奈美・中山亜紀子・中井好男／質的言語教育研究を考えよう／ひつじ書房／9784823410420
参考文献／Reference	本田弘之・岩田一成・義永美央子・渡部倫子（2019）『改訂版・日本語教育学の歩き方ー初学者のための研究ガイドー』大阪大学出版会 その他、授業中に適宜紹介します。
コメント／Other Remarks	授業の実施形態は大阪大学の活動基準および人文学研究科の方針に従います。 履修に関して相談や質問がある方は、義永（mioko@ciee.osaka-u.ac.jp）までメールで連絡してください。
特記事項／Special Note	障がい等により本講義の受講に際し特別な配慮を要する場合は、人文学研究科言語文化専攻の大学院係(障がい学生相談窓口)に事前に相談するとともに、初回授業等、早期に授業担当教員に申し出てください。

担当教員／Instructor	義永 美央子
開講区分(開講学期)／Semester	秋～冬学期
開講科目名／Course Name	コミュニケーション論 B / Communication in Culture and Society B
曜日・時限／ Day・Time	月曜3限 / Monday 3rd period
単位数／Credits	2
講義題目／Course Name	第二言語教育の新しい潮流
授業の目的と概要／Course Objective	グローバル化やICTの発展に伴い、応用言語学や第二言語教育の世界も大きく変化しています。この授業ではテキストの輪読を通じて、複言語主義、マルチコンピテンス、トランスランゲージング、学習者オートノミーなどの概念や、応用言語学における言語論的転回・多言語的展開などの新しい潮流について理解を深めます。また、そうした新しい潮流や概念に基づく第二言語教育・学習の実践についても検討します。受講生の発表やディスカッションが中心になるため、積極的な参加を歓迎します。
教科書・教材／Textbooks	教科書・教材／Textbooks 青木直子・バーデルスキー, マシュー編／日本語教育の新しい地図―専門知識を書き換える／9784823410222／ひつじ書房
参考文献／Reference	授業中に適宜紹介します。
コメント／Other Remarks	障がい等により本講義の受講に際し特別な配慮を要する場合は、人文学研究科言語文化専攻の大学院係(障がい学生相談窓口)に事前に相談するとともに、初回授業等、早期に授業担当教員に申し出てください。
特記事項／Special Note	授業の実施方法は大阪大学の活動基準に従って決定します。履修に関して相談や質問がある方は、義永 (mioko@ciee.osaka-u.ac.jp) までメールで連絡してください。